

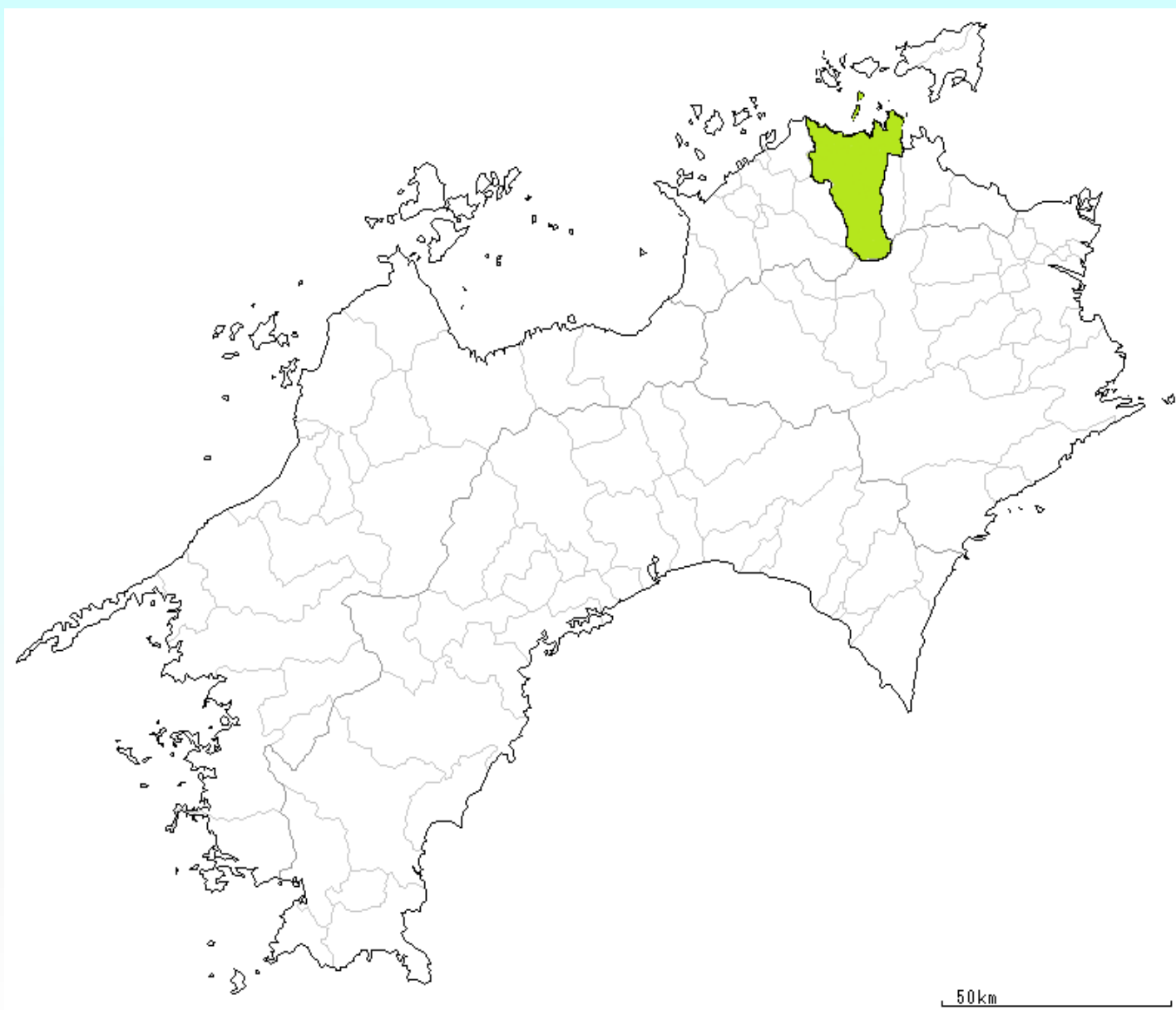
地域で取り組む 支えあいのまちづくり

～生活支援体制整備事業～

社会福祉法人 高松市社会福祉協議会

岡 本 英 彦





高松市

【総人口】 428,139人

0歳～14歳 57,951人

15歳～64歳 253,715人

65歳以上 116,473人

【高齢化率】 27.2%

【面積】 375.1 km²

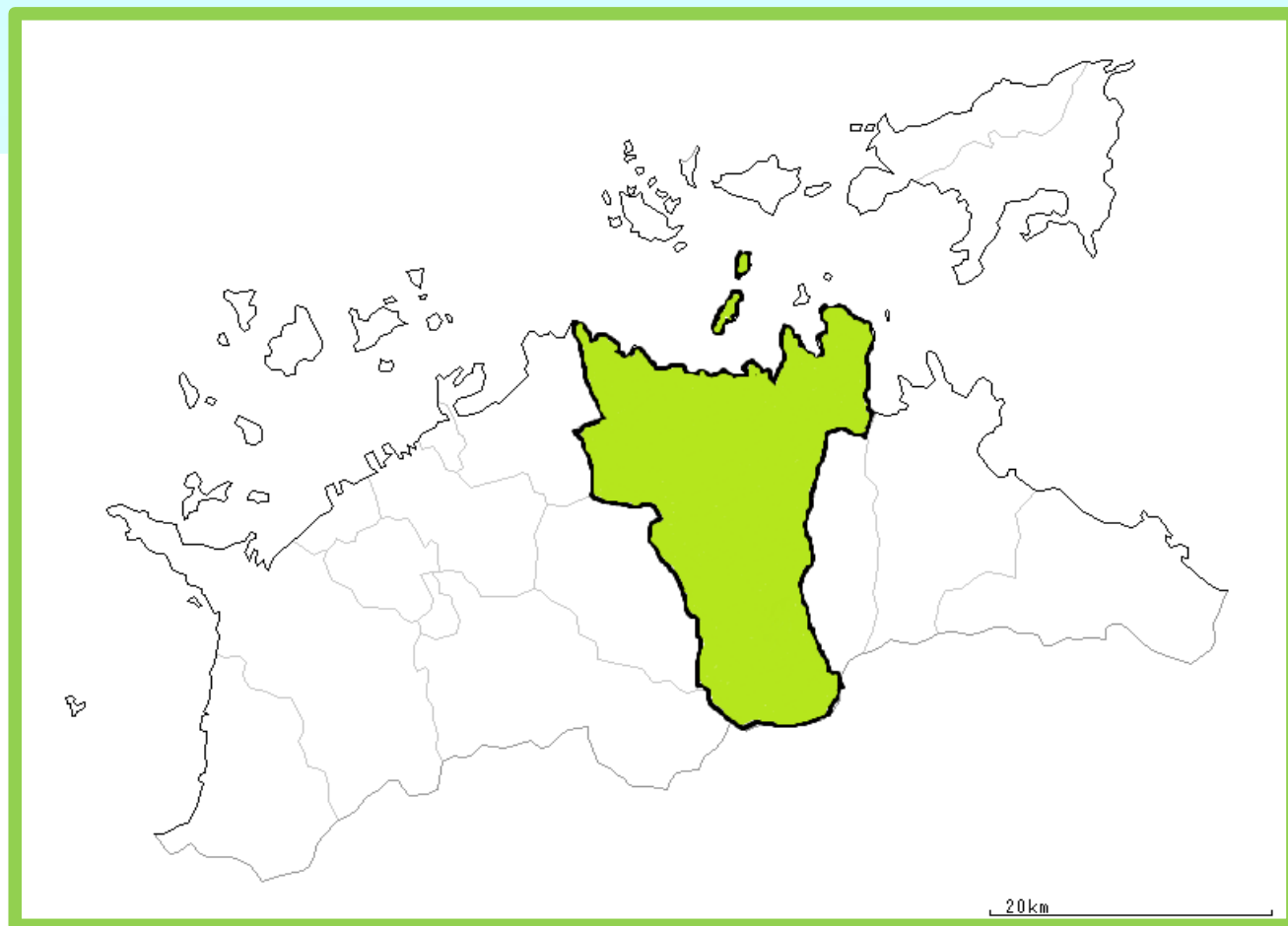
【要介護認定率】

要支援 5.8% (6,781人)

要介護 15.4% (17,892人)

合計 21.2% (24,673人)

(平成30年8月1日時点)



地域支援事業の状況

平成30年8月1日現在

生活支援体制整備事業		
協議体	設置数	生活支援 コーディネーター数
第1層	1	1人
第2層	38地区／44地区	10人(専任)

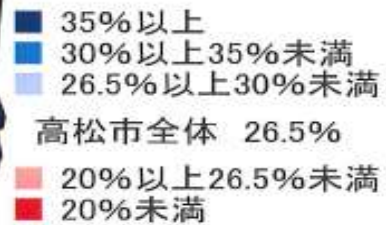
住民主体の生活支援サービス	
サービスの種類	実施地区数
訪問型サービスB	13地区
通所型サービスB	5地区
その他地区独自事業	3地区



経 過 等 (1)

年 月	内 容
H27. 4	高松市より高松市社会福祉協議会(以下「社協」)に職員1名出向
4～6	高松市地域包括支援センター(以下「包括」)、高松市長寿福祉課(以下「長寿」)、社協の3者で、生活支援体制整備事業等の実施方針について協議 ・第2層生活支援コーディネーター(以下「コーディネーター」)業務を地域福祉活動の実績のある社協に委託する。コーディネーターは専任とする。 ・第2層協議体の圏域は、コミュニティが形成されている概ね小学校区の44地区とする。(高齢者保健福祉計画上の日常生活圏域は19圏域) ・住民主体の生活支援サービス(訪問型B、通所型B)を含め、住民による支えあいサービスの普及啓発を図る。 ・3者の連携を密にし、協議をしながら進める。 等、基本的な方針を確認
7	社協内に地域包括ケア推進室(3名)を先行設置
9	高松市議会に補正予算計上
10	生活支援コーディネーター業務を高松市から受託(7人体制／専任)

(平成29年1月1日現在高松市登録人口)



経 過 等 (2)

年 月	内 容
H27. 10 ~ 12	包括、長寿、社協の3者で、各地区のコミュニティ協議会、連合自治会、地区社協、民生児協等の団体に事業の趣旨等を説明するも、当初は次のような厳しい意見が大半であった。 ・行政は、また、地域に押し付けてくるのか。 ・自治会の加入率は低下して、どこに誰が住んでいるのかわからなくなっているし、高齢者が増加する中で、住民同士で支えろなんてとんでもない。 ・市はお金がないから、安く上がる住民にやらせようとしているのではないか。等
H27. 12	庵治地区社協会長が事業の趣旨に理解を示し、担当の生活支援コーディネーターが事業の趣旨を改めて説明し、地区社協会長を中心に14の団体の代表者で構成する第2層協議体が初めて設置される。
H27. 10 ~ H28. 3	地域での説明会 延144回 地域の個別協議・打合せ等 延218回 第2層協議体 2地区設置
H28. 4 ~ H29. 3	地域での説明会 延47回 地域の個別協議・打合せ等 延478回 第2層協議体 21地区設置 第2層協議会会議 延141回開催(原則月1回) 10月から高松市の新しい総合事業が始まる。庵治地区が訪問型サービスB開始
H29. 4 ~ H30. 3	地域での説明会 延18回 地域の個別協議・打合せ等 延696回 第2層協議体 14地区設置 第2層協議体会議 延302回開催

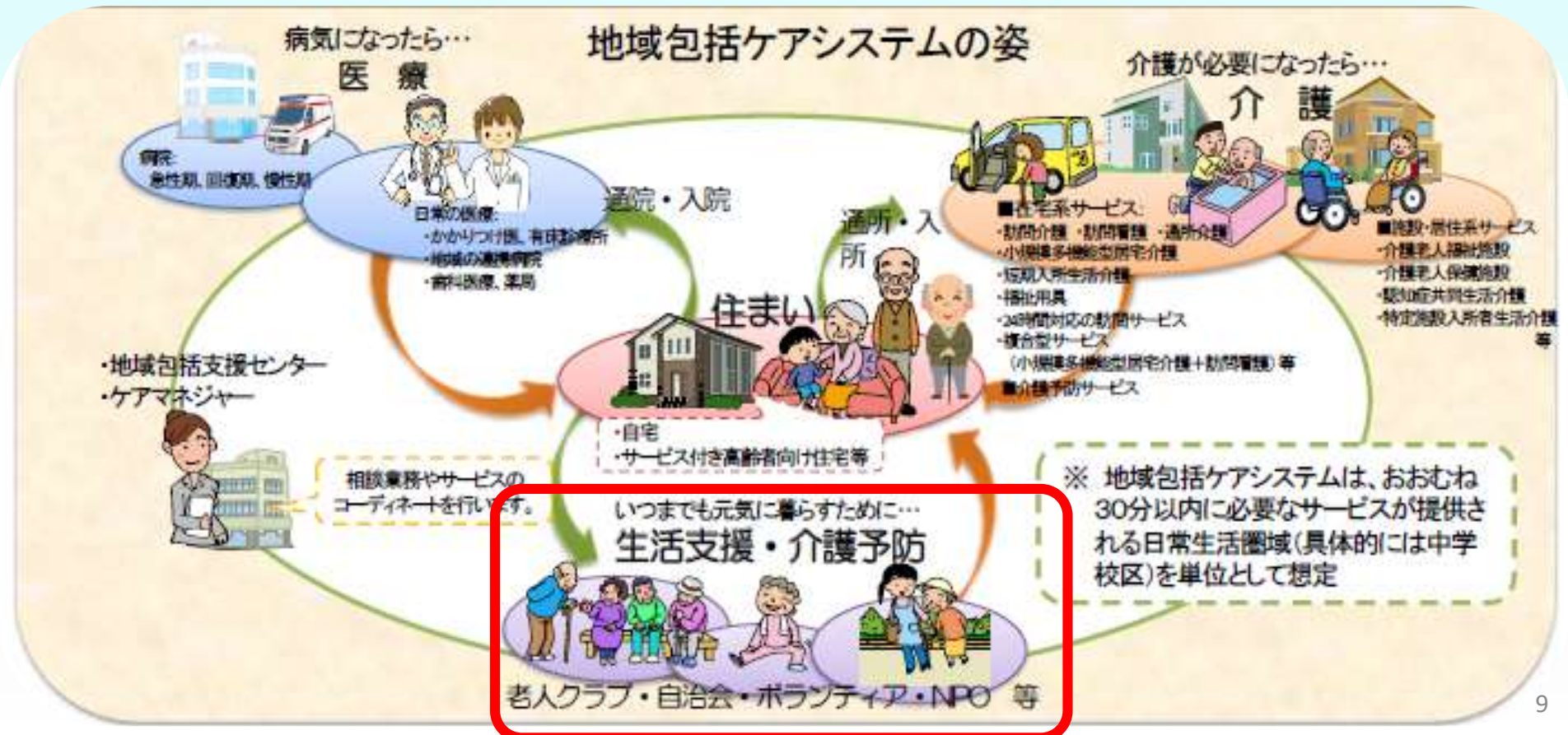
各地域の説明会等で出された主な課題

- ・若い人がいなくなり、一人暮らし高齢者が急増している
- ・認知症高齢者が増加している
- ・空き家が増加している
- ・公共交通機関がない、あっても便数が少なく使えない
- ・スーパー等が遠方で買い物に困る
- ・自治会加入率が減少している
- ・高齢になり役員ができないので自治会を脱退する人が増えている
- ・高齢者が集まる場所がない。特に男性高齢者の社会参加が少ない
- ・マンション等集合住宅に住んでいる高齢者の把握がしづらい
- ・地域の高齢者を支えようとしても、個人情報壁がある
- ・担い手が少ない
- ・近くに病院がない

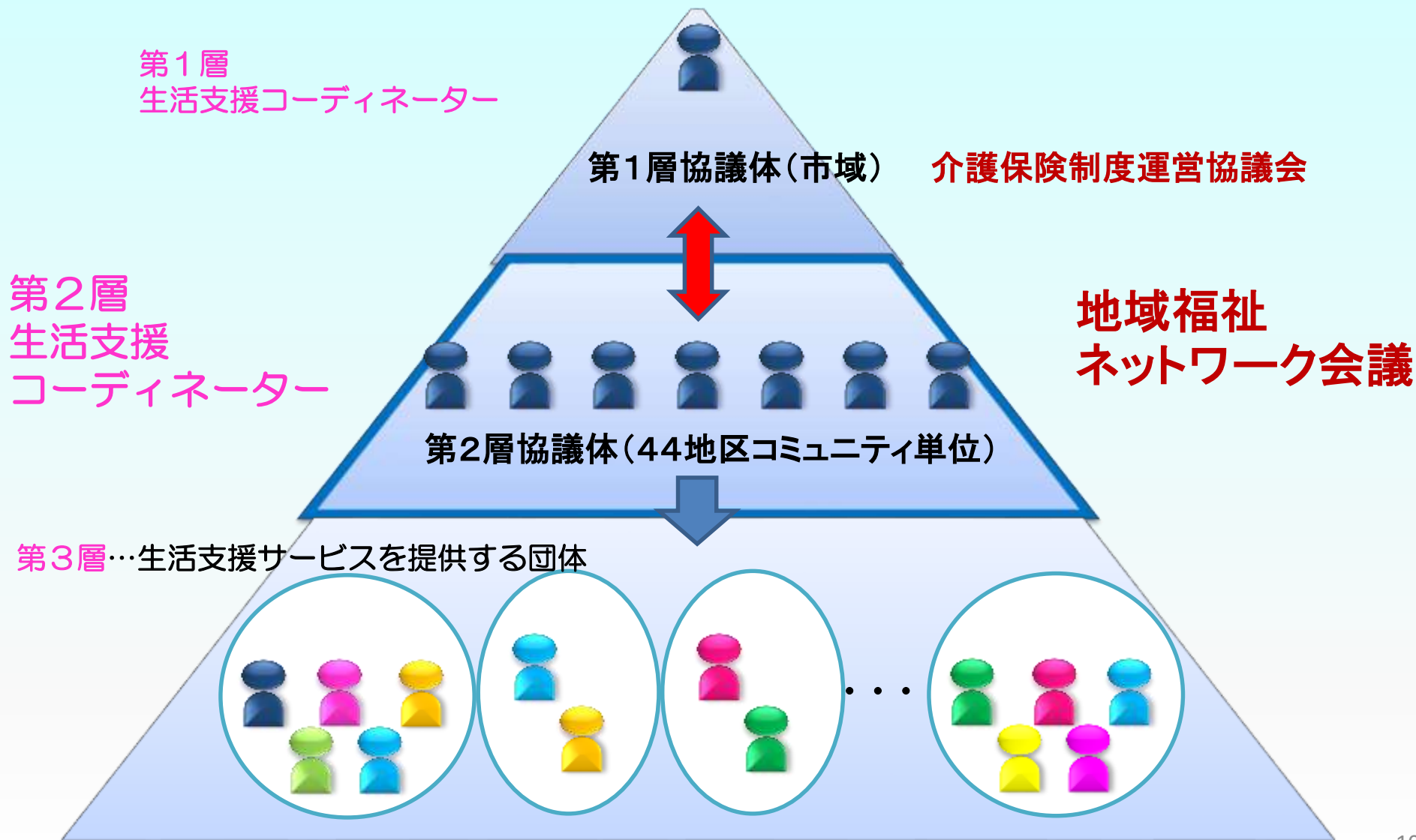


地域包括ケアシステムのイメージ

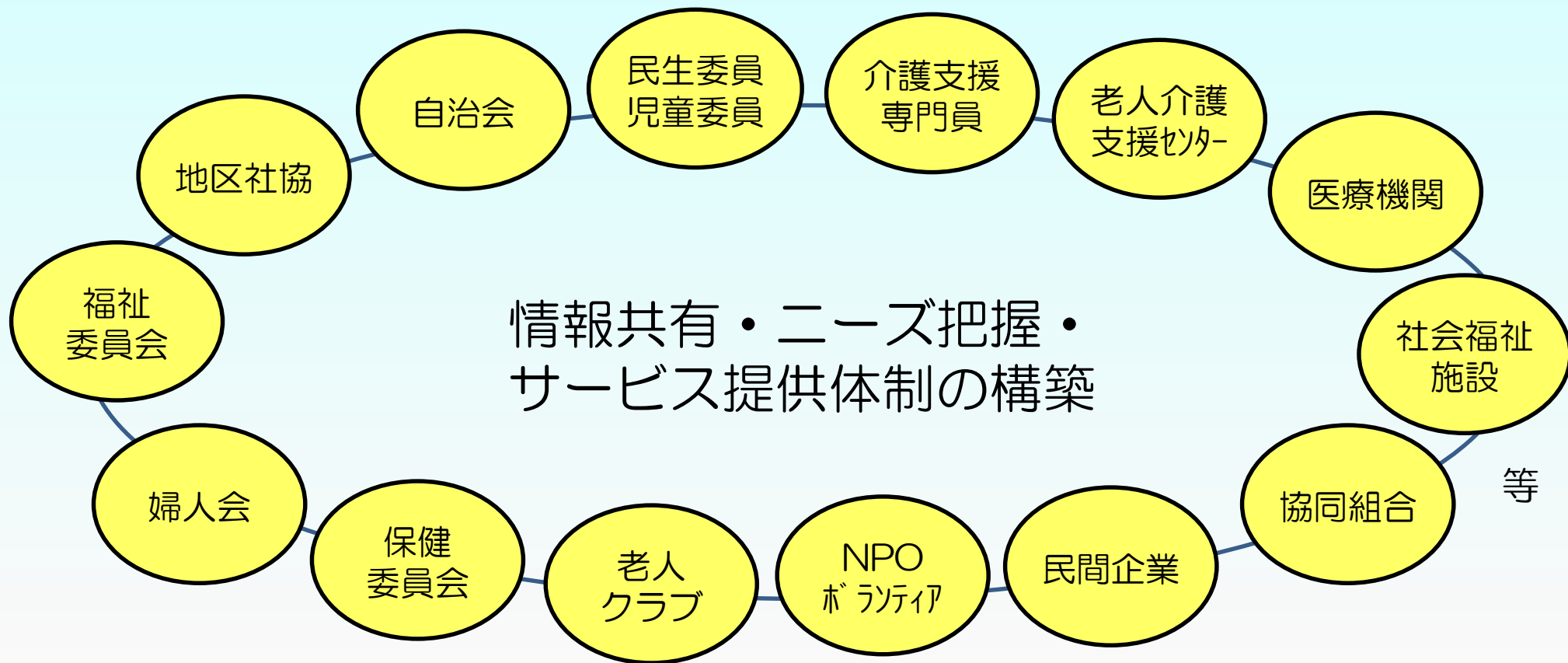
団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援**が包括的に確保される体制の構築。



目標：人口42万人の高松市は、住民主体の支え合いを
推進するため、小学校区単位の44か所で地域福祉
ネットワーク会議（第2層協議体）を立ち上げます



地域福祉ネットワーク会議(第2層協議体)のイメージ



高松市における第2層協議体メンバーの特徴

自治会、老人クラブ、婦人会、民生児童委員、コミュニティ協議会、地区社会福祉協議会といった地縁組織のほか、地域との関わりがある様々な方々が参加しています。

【地域の特徴を生かしたメンバーの例】

- ・居場所やサロンの運営者(香南地区、香西地区、川添地区、太田南地区)
- ・小学校PTA、子ども会育成連絡協議会(太田地区)
- ・ボランティア団体(香南地区)
- ・赤十字奉仕団(古高松地区、松島地区、植田地区、川添地区)
- ・保護司会(香南地区)
- ・地域おこし協力隊、観光協会(女木地区)
- ・交通安全母の会(大野地区)
- ・消防団(下笠居地区、女木地区、太田地区)



地域福祉ネットワーク会議（第2層協議体）の役割

- ・5年後・10年後を見据えた
支え合いのまちづくりの検討
- ・地域の課題、ニーズの把握
- ・福祉活動拠点、活動団体等の地域資源の把握
- ・情報交換、情報共有
- ・生活支援サービスの体制整備、担い手の養成 など



生活支援コーディネーターの役割



- ・地域の情報収集・提供、会議資料作成、企画提案など、
地域福祉ネットワーク会議の運営を支援

会議の進め方

地域の問題や資源の視覚化

- 地域の課題やニーズを話し合うとともに、ボランティア団体等の活動状況など地域資源を把握・整理し、委員間で情報共有を図る。



課題の明確化・絞込み・順位付け

- 地域の課題やニーズを明確にし、緊急性・重要性の高いものから順位付けを行う。

住民アンケート
講演会・説明会
ワークショップ
など



解決方法の検討

- 地域課題の解決方法やニーズの実現方法を検討し、実施する事業等を具体化する。



住民や当事者による組織化

- 実施する事業が決定すれば、誰が、いつから、何をするのか検討する。

見守りネットワーク
居場所づくり
支えあいサービス
など



実際の活動開始

わがまちこんなとこシート

1 地域の概況

2 地域情報

- (1) 人口情報(10年前との比較 年少人口 生産年齢人口 前期・後期高齢者数 等)
- (2) 独居高齢者数 寝たきり高齢者数
- (3) 要介護認定者数
- (4) 各種検診受診率
- (5) 自治会加入数・加入率
- (6) 公共交通機関

3 地域の施設・拠点等

- (1) 商業 行政 教育 医療施設
- (2) 居場所・サロン
- (3) 社会福祉施設 介護保険施設

4 地域の福祉活動団体と活動内容等

5 地域のええとこ いかんとこ こんなんしてみたら

6 地域のマップ



屋島地区アンケート調査票

香西地区アンケート調査票

松島地区アンケート調査票

※該当する箇所には○をしてください。()内は職業を御記入ください。

調査対象者の基本的事項

問1 あなたの性別をお聞します。

- 1 男性 2 女性

問2 あなたの年齢をお聞します。(平成28年9月1日現在)

- 1 64歳以下 2 65～69歳 3 70～74歳 4 75～79歳



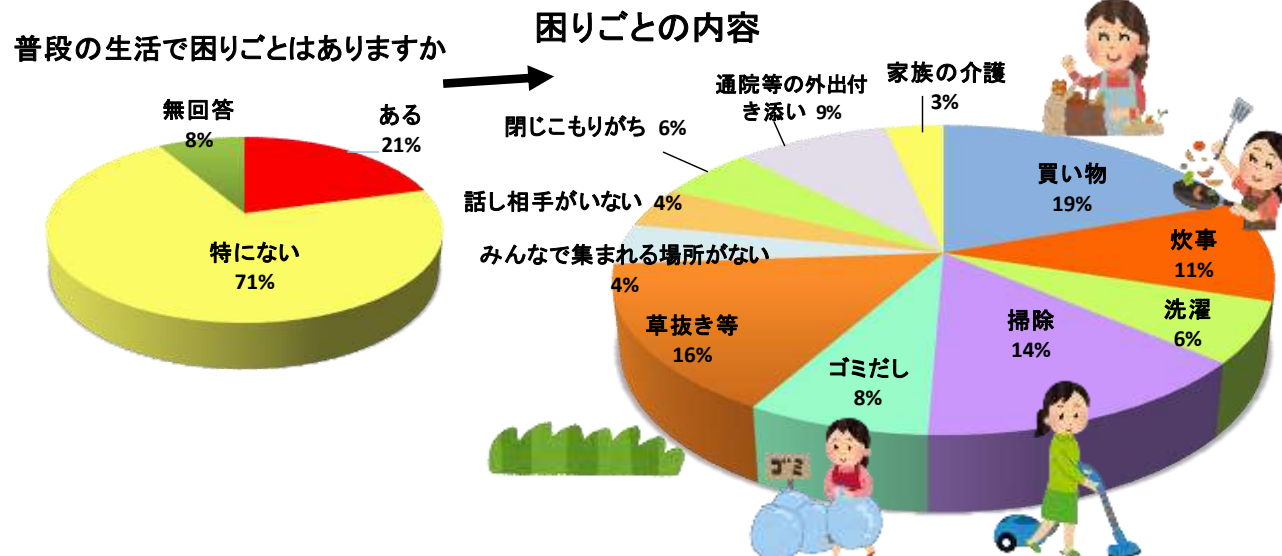
日常生活について



普段の移動手段は、**自転車が一番多く、回答者の半数以上の方が利用されています。**自動車、徒歩と回答された方も多くいました。

外出の頻度は、**ほぼ毎日**が40パーセント、**週3～5回程度**が29パーセント、**週1～2回程度**が17パーセントと、**多くの方が週に1回以上は外出されている**という結果でした。

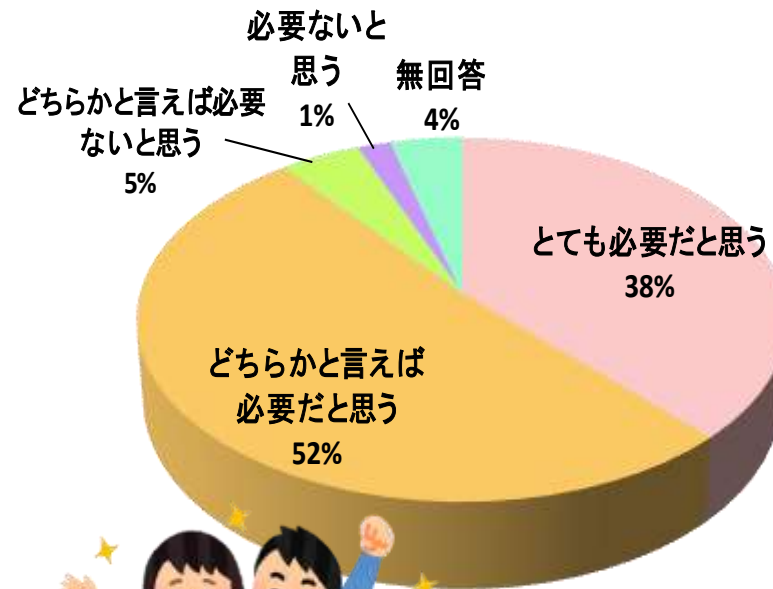
生活上の困りごとについての質問では、**21パーセントの方が、困りごとがあると答えられました。**その内容については下の右のグラフにあるように、**買い物、草抜き、掃除、炊事、ゴミだし等が多い結果**となりました。その他にも、電球交換や重いものの移動、高い所や押入れでの作業、クーラーの掃除、植木の高所の枝打ち、季節の住まいの入れ替えなど、いろいろな困りごとが挙げられました。
やはり一人暮らしの方ほど、困りごとが多い結果でした。



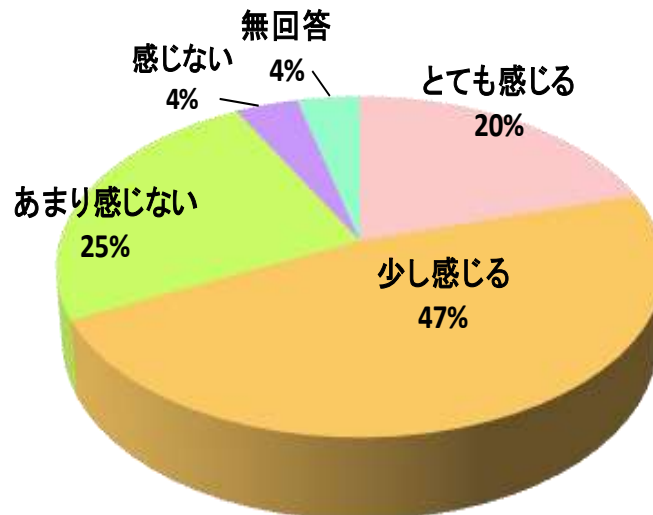
住民参加の地域づくり

地域のつながり(住民の助け合い・支え合いなど)について、90パーセントの人が必要だと感じており、実際に地域にはつながりがあると感じていると答えた方は、67パーセントおられました。松島地区は、つながりを大切にしている地域であると言えます。

地域のつながりの必要性



お住いの地域でのつながり



香南地区 ワークショップ

地域のいいところ・いかんと
こって なにがあるかみんな
で考えよう！



こども食堂

世代間交流のできる こどもの居場所
まんでサロン香南「こども食堂」

1日のスケジュール

- 10:00 参事・職員・ボランティアの集合
- 10:10 参事・職員・ボランティアの集合
- 10:30 参事・職員・ボランティアの集合
- 11:00 参事・職員・ボランティアの集合
- 11:30 参事・職員・ボランティアの集合
- 12:00 参事・職員・ボランティアの集合

平成29年6月
世代間交流のできる こどもの居場所
まんでサロン香南
「こども食堂」

高齢者と子供が交流できる場所が
あるといいよね！

香南地区
多世代交流サロンづくり

二番丁地区

23



香西地区



大野地区



塩江地区



みんなで支え合う 地域づくりフォーラム

～新しい総合事業の実施をチャンスとして～

介護保険制度の改正により創設された「新しい総合事業」には、
地域住民で支え合う仕組みづくりが盛り込まれました。
そこで、住民一人ひとりが主役となり、みんなで支え合うあたたかい地域づくりについて、
一緒に考えてみませんか。

入場無料
(先着300名)

事前申し込みが
必要です。

日時 **2016年 10/17** 会場 **サンポートホール高松 4階 第1小ホール**

13:30 開会
13:30～13:35 あいさつ
13:40～14:30 基調講演

「地域で助け合いを広める鍵と方策」

■ 講師 堀田 力 公益財団法人 さわやか福祉財団 会長

にっぽん子育て応援団長、社会保障審議会委員、中央社会福祉審議会委員、高齢者介護研究会会長、東京都社会福祉協議会会長、東京の地域ケアを推進する会議委員長等を歴任。
新地域支援構想会議の発起人として国や市町村へ提言するなど、全国各地で強力に絆のある地域づくりを推進中。



休憩(10分)

14:40～16:00 パネルディスカッション「みんなで創ろう 助け合い社会」

■ コーディネーター 堀田 力 公益財団法人 さわやか福祉財団 会長

■ パネリスト
森岡 勇 第二層協議体 高松地区ネットワーク協議会 会長
文野 真子 社会福祉法人 松平会 ヨハネの国センター長
岡本 英彦 第二層生活支援コーディネーター (高松市社会福祉協議会)
大西 秀人 高松市長

16:00 閉会

みんなで支え合う地域づくりフォーラム ～新しい総合事業の実施をチャンスとして～

パネリストのご紹介



■ パネリスト
森岡 勇
第二層協議体 高松地区ネットワーク協議会 会長
高松地区ネットワーク協議会の会長として、住民主体による協議型サービスの提供体制を構築。



■ パネリスト
岡本 英彦
第二層生活支援コーディネーター (高松市社会福祉協議会)
生活支援コーディネーターとして、地域の皆さんと一緒に、みんなで支え合う地域づくりを推進。



■ パネリスト
文野 真子
社会福祉法人 松平会 ヨハネの国 センター長
地元の高松市福祉法人として、香西長寿寺かけ廻(のちの第二層協議体)の立ち上げなど、地域と共に支え合い、助け合いを広める活動に貢献。



■ パネリスト
大西 秀人
高松市長
住み慣れた地域で共に支え合い、安心して暮らし続けられる社会を実現。



会場のご案内

サンポートホール高松 (高松市サンポート2-1)

□ JR高松駅より徒歩3分
□ ことでん高松駅より徒歩3分

車でお越しの方は、近隣の有料駐車場(サンポート高松地下駐車場など)をご利用ください。

お申し込み方法

参加ご希望の方は、お名前(フリガナ)、ご連絡先の電話番号、所属団体名等をご記入の上、FAX、Eメールのいずれかにてお申込ください。

メール **takas003@mail.netwave.or.jp**
FAX **087-811-6165** 締め切り **9月30日**

	(フリガナ) お名前	ご連絡先の電話番号	所属団体名等
参加者①		() -	
参加者②		() -	
参加者③		() -	

※ご記入いただきました情報は、厳重な管理の下に、本フォーラムに関してのみ使用いたします。
※申し込み順にて受付させていただきます。なお、定員を超え、参加いただけない方にはご連絡いたします。

お申し込み・お問い合わせ 高松市社会福祉協議会 TEL.087-811-5888

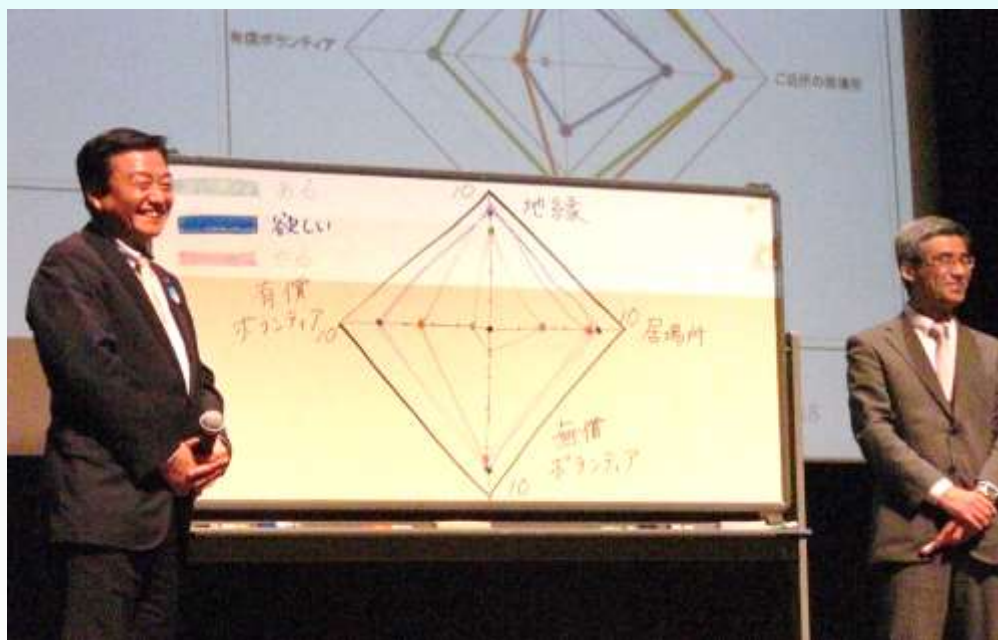
主催 高松市 共催 高松市社会福祉協議会・公益財団法人 さわやか福祉財団
後援 住友生命保険相互会社



(左上)
7名の第2層生活支援コーディネーター

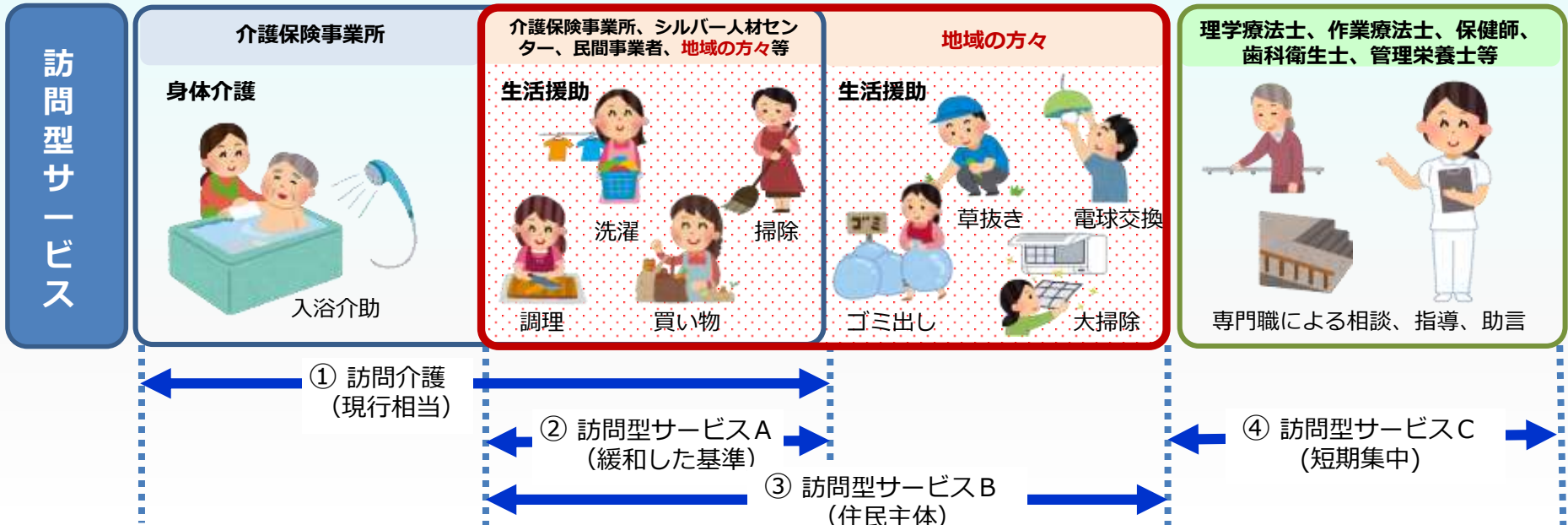
(右下)
参加して下さった約300名の方々

(左下)
参加者で行った
「助け合い見える化チャート」

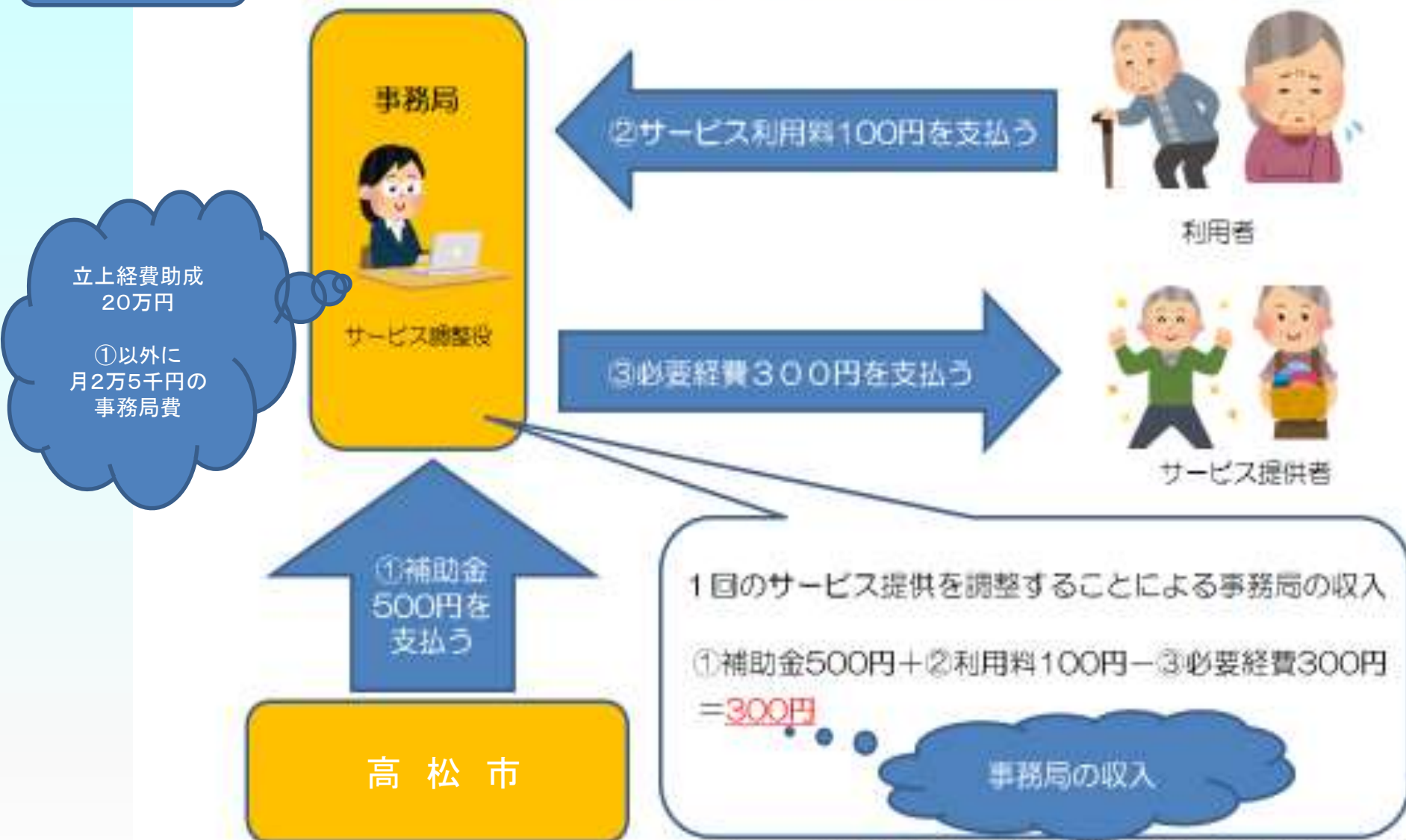


訪問型サービスのメニュー

	現行の予防相当	多様なサービス			
サービス種別	① 現行相当サービス	② 訪問型サービスA (緩和した基準によるサービス)	③ 訪問型サービスB (住民主体による支援)	④ 訪問型サービスC (短期集中予防サービス)	
サービス内容等	●身体介護 入浴介助など	—	—	専門職による居宅での相談指導等	
	●生活援助 掃除、洗濯、買い物など	●生活援助 掃除、洗濯、買い物など	●生活援助 掃除、洗濯、買い物など	●閉じこもりに対する支援 ●必要に応じ、口腔機能向上、栄養改善指導(6か月間)	●自主トレーニング提案 ●手すり設置等の相談(6か月間)
	—	—	●生活援助 草抜き、ゴミ出しなど		
実施方法	事業者指定	事業者指定	補助	直接実施 委託	委託 通所型Cと併用



地域住民支え合いサービスの補助金の使い方 (標準)



※ただし、同じ利用者による補助金500円は、月5回を限度とする。

地域住民支え合いサービスのサービス内容

サービス提供時間	サービス内容	利用料
～60分	ゴミ出し・電球交換・簡易な掃除・整理整頓 安否確認・ペットの散歩 薬の受取り（薬局に取りに行く）・代筆 草抜き・調理・配膳・食事の後片付け・買い物 洗濯・アイロンがけなど	100円

注意事項

※サービス内容については、例を示しているものです。
※ゴミ出しなどの短時間のサービスは、安否確認などとセットで提供する。
※いかなる場合もサービスを提供する際、自家用車等に利用者を同乗させることは禁止します。

庵治支援隊サービス提供者募集

庵治地区に住む高齢者が住み慣れた庵治で安心して生活が続けられるよう必要なサービスを検討し、新しい「地域住民主体」のサービス実施に向けて準備を進めています。

このサービスを利用できるのは65歳以上で、①介護認定で「要支援1・2」の人②厚生労働省の定めた25項目の基本チェックリストにより「事業対象者」と判定された人です。

庵治地区の高齢者を対象にしたアンケート調査の結果に基づき、庵治地区訪問型サービスを10月から実施の予定です。

庵治支援隊では、この支え合い事業の担い手になってくださる方を募集しています。ちょっとしたボランティアを始めてみませんか？

(※上記記載の庵治支援隊とは)

庵治地区で簡単な家事援助(草抜き・買物・ごみ出し等)を行う住民主体による支援団体です。



サービス内容

行なっていただくサービスは以下の3つです。

①草抜き



②買物



③ごみ出し



サービス提供時間及び必要経費

サービスの提供時間は、1回60分までで、1回の提供につき、300円の必要経費をお支払いします。

申込み・お問い合わせ

社会福祉法人 高松市社会福祉協議会庵治支所
☎090-4786-2111
ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。

サービス提供者

庵治地区に在住の方



その他

サービス提供者の申込みをしていただいた方は、事前に市が行う研修を受講していただきます。



第9回庵治地区ネットワーク会議

平成28年9月27日



～新しい総合事業～
「**庵治支援隊**」の開始
に向けて始動



庵治支援隊サービスを実施！



～介護が必要になっても、住み慣れた庵治地区で安心して暮らし続けられる、支え合いのまちづくりを目指して～

ちょっとしたお困りごとありませんか？
そんなときは…

庵治支援隊

<支援内容>

- ごみ出し
- 草抜き
- 買物

決められた時間や場所に行かないと…

家裏の草抜きが…

足も痛くてスーパーまで買物に行けないわー

【利用できる方】

- 庵治町在住で65歳以上の
- ①要支援1・2の認定を受けた方
- ②基本チェックリストの結果、要支援者となった方

【費用】

- 1回100円(60分以内)
- ※1ヶ月5回までご利用いただけます。

※お申し込みはケアマネジャーを通していただきます。

ちょっとした困りごと、地域の方がお手伝いします。
住み慣れた庵治での暮らしを支援します。

お問い合わせはこちら

庵治支援隊 ☎087-870-3426
(高松市庵治町978番地 庵治保健センター内)

こんな時 あんな時 チョットしたこと

アレしてほしい
コレしてほしい

はなちゃん手伝いたい

花園地区地域福祉ネットワーク会議
(花園地区訪問型サービス)

ごみ出し・草ぬき・草めき



利用できる方
★花園地区在住の65歳以上で、一人暮らしの方及び高齢者世帯の方★

- ①要支援1・2の認定を受けた方
- ②基本チェックリストで認定の対象と認められた方

費用
1回100円(1回の作業が60分以内)
1ヶ月最大5回まで利用できます

サービス利用の流れは、こちらへ

ごみ出し・買い物・草抜き…困っていませんか？

松島の風ささえたいが あなたのお手伝いをします！

松島地区にお住まいの高齢者が、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう、松島地区のボランティアが4月から始まります。高松市の研修を受けた「松島の風ささえたい」の4人がサービスを提供しますので、安心してご利用ください。

- サービス内容 ごみ出し・買い物・草抜き等
- 利用料金 1回の利用につき100円
- 利用時間 1時間以内
- 対象者 65歳以上で介護保険の要支援1・2 またはそれに準ずる方
- 申し込み方法 下記電話番号に申し込んでください。
曜日、松島市の風ささえたいがご自宅を訪問して詳しく説明します。

松島の風 さくら倶楽部 参加者募

介護予防のための健康運動(球技や運動)や健康活動を通じた楽しい会です。「暮らし、ちょっと休みの力」が養われてきた。記憶力が落ちてきたな。など感じている方は是非、ご参加ください。

- 活動場所 新築北公園 緑の広場
- 開設時間 毎週月曜日 9時～11時まで
【対象者】 一般の高齢者の方
- 参加費 毎週水曜日 9時～12時まで
【対象者】 65歳以上で介護保険の要支援1・2 またはそれに準ずる方
- 参加料金 1回200円(3名まで、保険料別)

生活の中でのちょっとしたお困りごと、ありませんか？

平成29年4月スタートします

おてったい屋 島です！

このように「おてったい」ができます

- お困りごとを
お聞きします
- お買い物の代行
お買い物の代行
お買い物の代行
- お困りごとを
お聞きします
- お困りごとを
お聞きします

利用できる方
高齢者(65歳以上)で、一人暮らしの方及び高齢者世帯の方

- ① 要支援1・2の認定を受けた方
- ② 基本チェックリストの結果、要支援者となった方

お申し込みは、お電話またはお申し込み書にてお申し込みください。

お問合せはこちら
おてったい屋 事務局
高松市西高松町115番地
☎ 080-7682-6683

費用
1回100円(1時間の利用で100円です)。
1ヶ月最大5回までご利用が可能です。

H29.10.1スタートします！

お手伝いうえた

住み慣れた地域で、いつまでも元気で生活が送られるように、地域の特性に応じた柔軟な体制で提供されるサービスです。

- お手伝い内容
 - ・ごみ出し
 - ・買い物の代行
 - ・草抜き
 - ・電球交換
 - ・公文書等の説明手伝い
- お手伝い時間
 - ・月曜日～金曜日
 - ・午前7時～午後6時まで
- お手伝い料金
 - ・1回100円(60分以内)
 - ・1ヶ月5回まで利用できます
- 利用できる方
 - ・松田校区内在住65歳以上で一人暮らしの方及び高齢者世帯の方
 - ・要支援1・2の認定を受けた方
 - ・基本チェックリストで認定の対象と認められた方

まず、お気軽にお問合せください。

あなたの困った…に うえたのお手伝いサービス！

お手伝いうえた事務局

高松市西高松町2247-1番地

ごみ出し、草ぬき、買い物 お困りではありませんか？

1回あたり 100円

近くのボランティアさんがお手伝いにお伺いします。

ふれあいネット 古高松

★ ふれあいネット古高松事務局
詳しくは裏面をご覧ください。

電話 080-8635-8680
(〒761-0104) 高松市高松町 1125-5

地域福祉ネットワーク会議
情報交換会(H29.10.25)





今 後 の 課 題

- 支えあいに対する地域住民の理解を広める
(ワークショップ・研修会・説明会・相談会等の開催、
地区社協広報等での周知啓発 など)
- 地域の見守り体制の構築 (ニーズが確実につながる)
- 担い手の発掘・養成
- 分野を越えた支え合いサービスの検討
(地域共生社会に向けて)



みんなが助け合い励ましあって明るく安心して
暮らしていける「やさしい心でつながる高松」
をめざして。

ご清聴ありがとうございました

